【　専門基礎分野　】

【　人体の構造と機能・疾病の成り立ち　】

<table>
<tr><td rowspan="3">授業科目</td><td colspan="2" rowspan="3">解剖生理学Ⅰ（人体の構造・生命維持機能）</td><td>対象学年・時期</td><td>1 年次・前期</td></tr>
<tr><td>単位数</td><td>1</td></tr>
<tr><td>時間数</td><td>30</td></tr>
<tr><td rowspan="2">講師名</td><td colspan="2" rowspan="2">医師</td><td>講義時間</td><td>12</td></tr>
<tr><td>テスト時間</td><td>試験別</td></tr>
<tr><td>学習目標</td><td colspan="4">1. 身体の構造と機能を理解する</td></tr>
<tr><td>回数</td><td>主題</td><td colspan="2">学習内容及び方法</td><td>講義形態</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1 回
2 回

3 回</td><td>1. 形からみた人体</td><td colspan="2">1）体表から触知する人体の構造
2）人体の構造と区分
3）人体の部位と器官</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>2. 素材からみた人体</td><td colspan="2">1）細胞と組織
2）細胞の構造
3）遺伝子と遺伝情報
4）組織と器官</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>3. 機能からみた人体</td><td colspan="2">1）生命の維持
2）体液と電解質
3）体液の酸塩基平衡
4）内部環境とホメオスタシス</td><td>講義
（3 回目　まとめ）</td></tr>
<tr><td>4 回</td><td>3. 機能からみた人体</td><td colspan="2">5）皮膚の構造と機能
（1）皮膚の組織構造
（2）皮膚の附属器
（3）皮膚の機能</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>5・6 回</td><td>3. 機能からみた人体</td><td colspan="2">6）生体の防御機構
（1）非特異的防御機構
（2）特異的防御機</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td colspan="4">筆記試験</td></tr>
<tr><td>テキスト</td><td colspan="4">系統看護学講座　専門基礎　解剖生理学　人体の構造と機能①（医学書院）</td></tr>
<tr><td>参考文献</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="3">授業科目</td><td colspan="2" rowspan="3">解剖生理学Ⅰ(人体の構造･生命維持機能)
:生命の発生と生殖器の解剖生理</td><td>対象学年･時期</td><td>1年次･前期</td></tr>
<tr><td>単位数</td><td>1</td></tr>
<tr><td>時間数</td><td>30</td></tr>
<tr><td rowspan="2">講師名</td><td colspan="2" rowspan="2">医師</td><td>講義時間</td><td>8</td></tr>
<tr><td>テスト時間</td><td>試験別</td></tr>
<tr><td>学習目標</td><td colspan="4">1. 生殖器の構造と機能を学び、生殖･発生と老化のしくみを理解する</td></tr>
<tr><td>回数</td><td>主題</td><td colspan="2">学習内容及び方法</td><td>講義形態</td></tr>
<tr><td>1回</td><td>1. 生殖器の構造と機能</td><td colspan="2">1)男性生殖器
2)女性生殖器</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>2回</td><td>2. 受精と胎児の発生</td><td colspan="2">1)生殖細胞と受精
2)初期発生と着床
3)胎児と胎盤</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>3回</td><td>3. 成長と老化</td><td colspan="2">1)小児期の成長
2)老化
①老化のメカニズム
②各器官系･組織における老化現象</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>4回</td><td>まとめ</td><td colspan="2"></td><td>講義</td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td colspan="4">筆記試験</td></tr>
<tr><td>テキスト</td><td colspan="4">系統看護学講座　専門基礎　解剖生理学　人体の構造と機能①(医学書院)</td></tr>
<tr><td>参考文献</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="3">授業科目</td><td colspan="2" rowspan="3">解剖生理学Ⅰ（人体の構造･生命維持機能）
:血液の組成と機能</td><td>対象学年･時期</td><td>1 年次･前期</td></tr>
<tr><td>単位数</td><td>1</td></tr>
<tr><td>時間数</td><td>30</td></tr>
<tr><td rowspan="2">講師名</td><td colspan="2" rowspan="2">医師</td><td>講義時間</td><td>9</td></tr>
<tr><td>テスト時間</td><td>1(45 分)</td></tr>
<tr><td>学習目標</td><td colspan="4">1. 血液の解剖生理について理解する</td></tr>
<tr><td>回数</td><td>主題</td><td colspan="2">学習内容及び方法</td><td>講義形態</td></tr>
<tr><td>1 回</td><td>1．血液の組成と機能</td><td colspan="2">1）血液の組成
2）血液の機能</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>2 回
3 回</td><td>2．血液の機能</td><td colspan="2">1）赤血球
（1）赤血球数･ヘモグロビン濃度･ヘマトクリット
（2）ヘモグロビンの構造と機能
（3）赤血球の新生と破壊
2）白血球
（1）顆粒球　（2）リンパ球　（3）単球
3）血小板</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>4 回</td><td>2．血液の機能.</td><td colspan="2">4）血漿タンパク質と赤血球沈降速度
5）血液の凝固と繊維素溶解
6）血液型</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>5 回</td><td colspan="3">まとめ･終講試験</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td colspan="4">筆記試験</td></tr>
<tr><td>テキスト</td><td colspan="4">系統看護学講座　専門基礎　解剖生理学　人体の構造と機能①（医学書院）</td></tr>
<tr><td>参考文献</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

【解剖生理学Ⅰ】

自己学習時間	15 時間	事前･事後学習	テキストで事前学習･事後学習で知識の定着を図る

授業科目	解剖生理学Ⅱ（骨筋・循環器・呼吸器系） ：骨筋系	対象学年・時期	1年次・前期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	医師	講義時間	10
		テスト時間	試験別
学習目標	1. 骨筋系の解剖・生理について理解する		

回数	主題	学習内容及び方法	講義形態
1回	1. 骨格とはどのようものか 2. 骨の連結 3. 骨格筋	1)人体の骨格　2)骨の形態と構造 3)骨の組織と組成　4)骨の発生と成長 5)骨の生理的な機能 6)関節　7)不動性の連結 8)骨格筋の構造　9)骨格筋の作用 10)骨格筋の神経支配	講義
2回	4. 体幹の骨格と筋	1)脊椎　2)胸郭 3)背部の筋　4)胸部の筋 5)腹部の筋	講義
3回	5. 上肢の骨格と筋	1)上肢帯の骨格　2)上肢の骨格 3)上肢帯の筋群　4)前腕の筋群 5)手の筋群　6)上肢の運動	講義
4回	6. 下肢の骨格と筋	1)下肢帯と骨盤　2)下肢の骨格 3)下肢帯の筋群　4)大腿の筋群 5)下腿の筋　6)足の筋 7)下肢の運動	講義
5回	7. 頭頸部の骨格と筋 8. 筋の収縮	1)脳頭蓋　2)顔面頭蓋 3)頭部の筋　4)頸部の筋 5)骨格筋の収縮機構 6)骨格筋収縮の種類と特性 7)不随意筋の収縮の特徴	講義

評価方法	筆記試験
テキスト	系統看護学講座　専門基礎　解剖生理学　人体の構造と機能①（医学書院）
参考文献	

<table>
<tr><td rowspan="3">授業科目</td><td rowspan="3">解剖生理学Ⅱ（骨筋・循環器・呼吸器系）
：循環器系</td><td>対象学年・時期</td><td>1 年次・前期</td></tr>
<tr><td>単位数</td><td>1</td></tr>
<tr><td>時間数</td><td>30</td></tr>
<tr><td rowspan="2">講師名</td><td rowspan="2">医師</td><td>講義時間</td><td>8</td></tr>
<tr><td>テスト時間</td><td>試験別</td></tr>
<tr><td>学習目標</td><td colspan="3">1. 循環器系の解剖・生理について理解する</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>回数</td><td>主題</td><td>学習内容及び方法</td><td>講義形態</td></tr>
<tr><td>1 回</td><td>1. 循環器系の構成
2. 心臓の構造

3. 心臓の拍出機能</td><td>1)循環器系の構成
2）心臓の構造
（1）心臓の位置と外形
（2）心臓の4つの部屋と4つの弁
（3）心臓壁
（4）心臓の血管と神経
3）心臓の興奮とその伝播
4）心電図
5）心臓の収縮</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>2 回</td><td>4. 末梢循環系の構造</td><td>1）血管の構造
2）肺循環の血管
3）体循環の動脈
4）体循環の静脈
5）胎児の血液循環</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>3 回</td><td>5. 血液の循環の調節①</td><td>1）血圧
2）血液の循環
3）血圧・血流量の調節</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>4 回</td><td>5. 血液の循環の調節②
6. リンパとリンパ管</td><td>1）微小循環
2）循環器系の病態生理
（1）チアノーゼ　（2）起立性低血圧
（3）うっ血性心不全　（4）急性心不全　（5）高血圧
3)リンパ管の構造
4)リンパの循環</td><td>講義</td></tr>
</table>

評価方法	筆記試験
テキスト	系統看護学講座　専門基礎　解剖生理学　人体の構造と機能①（医学書院）
参考文献	

<table>
<tr><td rowspan="3">授業科目</td><td rowspan="3">解剖生理学Ⅱ(骨筋・循環器・呼吸器系)
:呼吸器系</td><td>対象学年・時期</td><td>1 年次・前期</td></tr>
<tr><td>単位数</td><td>1</td></tr>
<tr><td>時間数</td><td>30</td></tr>
<tr><td rowspan="2">講師名</td><td rowspan="2">医師</td><td>講義時間</td><td>11</td></tr>
<tr><td>テスト時間</td><td>1(45 分)</td></tr>
<tr><td>学習目標</td><td colspan="3">1. 呼吸器系の解剖・生理について理解する</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>回数</td><td>主題</td><td>学習内容及び方法</td><td>講義形態</td></tr>
<tr><td>1 回</td><td>1. 呼吸器の構造</td><td>1)呼吸器の構成
2)上気道
(1)鼻 (2)咽頭 (3)喉頭 (4)発声と構音
3)下気道と肺
(1)気管・気管支 (2)肺
4)胸膜・縦隔
(1)胸膜 (2)縦隔</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>2 回</td><td>2. 呼吸①</td><td>1)内呼吸と外呼吸
2)呼吸器と呼吸運動
3)呼吸気量</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>3 回</td><td>2. 呼吸②</td><td>1)ガス交換とガスの運搬
2)肺の循環と血流
3)呼吸運動の調節</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>4 回</td><td>2. 呼吸③</td><td>1)呼吸器系の病態生理
(1)換気障害 (2)拡散障害
(3)換気血流比不均等 (4)右-左短絡</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>5 回</td><td>まとめ</td><td>1)呼吸器系の解剖・生理のまとめ</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>6 回</td><td colspan="2">まとめ・終講試験</td><td></td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td colspan="3">筆記試験</td></tr>
<tr><td>テキスト</td><td colspan="3">系統看護学講座 専門基礎 解剖生理学 人体の構造と機能①(医学書院)</td></tr>
<tr><td>参考文献</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

【解剖生理学Ⅱ】

自己学習時間	15 時間	事前・事後学習	テキストで事前学習・事後学習を行い知識の定着を図る

授業科目	解剖生理学Ⅲ（消化器・腎泌尿器・内分泌系） ：消化器系	対象学年・時期	1年次・前期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	医師	講義時間	15
		テスト時間	1(45分)
学習目標	1. 消化器系の解剖・生理について理解する		

回数	主題	学習内容及び方法	講義形態
1回	1. 消化器とは 2. 口・咽頭・食道の構造と機能	1）消化器系の構成 2）食物の消化 3）口の構造と機能 （1）口の構造 （2）咀嚼の過程 4）咽頭と食道の構造と機能 （1）咽頭と食道の構造 （2）嚥下の過程	講義
2回	3. 腹部消化管の構造と機能①	1）胃の構造と機能 （1）胃の構造 （2）胃の機能	講義
3回	3. 腹部消化管の構造と機能②	1）小腸の構造と機能 （1）小腸の構造 （2）小腸の機能	講義
4回	3. 腹部消化管の構造と機能③	1）栄養素の消化と吸収 2）大腸の構造と機能 （1）大腸の構造 （2）大腸の機能	講義
5回	4. 膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能	1）膵臓・の構造と機能 2）肝臓と胆嚢の構造と機能 （1）肝臓の構造 （2）胆嚢と胆道 （3）肝臓の機能	講義
6回	5. 腹膜	1）腹膜 （1）腹膜と腸間膜 （2）腹膜と内臓の位置関係 （3）胃の周辺の間膜	講義
7回	まとめ	1）消化器系の解剖・生理のまとめ	講義
8回	まとめ・終講試験		
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座 専門基礎 解剖生理学 人体の構造と機能①（医学書院）		
参考文献			

授業科目	解剖生理学Ⅲ（消化器・腎泌尿器・内分泌系） ：腎泌尿器系	対象学年・時期	1年次・前期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	医師	講義時間	6
		テスト時間	試験別
学習目標	1．腎泌尿器系の解剖・生理について理解する		

回数	主題	学習内容及び方法	講義形態
1回	1．腎臓・糸球体・尿細管の構造と機能	1）腎臓の構造と機能 （1）腎臓の構造　（2）尿生成のメカニズム 2）糸球体の構造と機能 （1）糸球体の組織構造　（2）糸球体濾過 3）尿細管の構造と機能 （1）尿細管の構造　（2）尿細管の機能 4）傍糸球体装置 （1）傍糸球体装置の構造と機能 （2）レニン－アンギオテンシン－アルドステロン系 5）クリアランスと糸球体濾過量 6）腎臓から分泌される生理活性物質	講義
2回	2．排尿路	1）排尿路の構造 （1）尿管　（2）膀胱　（3）尿道 2）尿の貯蔵と排尿 （1）尿の輸送と貯蔵　（2）排尿の機序 （3）尿の成分と性状　（4）尿・排尿の異常	講義
3回	3．体液の調節	1）体液の調節 （1）水の出納　（2）脱水　（3）電解質の異常 （4）酸塩基平衡	講義
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座　専門基礎　解剖生理学　人体の構造と機能①（医学書院）		
参考文献			

<table>
<tr><td rowspan="3">授業科目</td><td colspan="2" rowspan="3">解剖生理学Ⅲ（消化器・腎泌尿器・内分泌系）
：内分泌系</td><td>対象学年・時期</td><td>1 年次・前期</td></tr>
<tr><td>単位数</td><td>1</td></tr>
<tr><td>時間数</td><td>30</td></tr>
<tr><td rowspan="2">講師名</td><td colspan="2" rowspan="2">医師</td><td>講義時間</td><td>8</td></tr>
<tr><td>テスト時間</td><td>試験別</td></tr>
<tr><td>学習目標</td><td colspan="4">1. 内分泌系の解剖・生理について理解する</td></tr>
<tr><td>回数</td><td>主題</td><td colspan="2">学習内容及び方法</td><td>講義形態</td></tr>
<tr><td>1 回</td><td>1．自律神経による調節</td><td colspan="2">1）自律神経の機能
（1）自律神経の特徴　（2）交感神経と副交感神経
2）自律神経の構造
（1）交感神経の構造　（2）副交感神経の構造
3）自律神経の神経伝達物質と受容体</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>2 回</td><td>2．内分泌による調節
3．全身の内分泌腺と内分泌細胞①</td><td colspan="2">1）内分泌系とホルモン
2）ホルモンの化学構造と作用機序
3）視床下部―下垂体系
（1）下垂体の構造　（2）神経内分泌
（3）視床下部ホルモン　（4）下垂体前葉ホルモン
（5）下垂体後葉ホルモン
4）甲状腺と副甲状腺
（1）甲状腺と副甲状腺の構造
（2）甲状腺ホルモンの産生・作用・分泌調節
（3）カルシトニンの作用　（4）副甲状腺の機能</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>3 回</td><td>3．全身の内分泌腺と内分泌細胞②</td><td colspan="2">1）膵臓　（1）膵島の構造　（2）膵島の機能
2）副腎　（1）副腎の構造　（2）副腎皮質の機能
（3）副腎髄質の機能
3）性腺　（1）性腺の構造　（2）性腺の機能
4）その他の内分泌腺</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>4 回</td><td>4．ホルモン分泌の調節</td><td colspan="2">1）ホルモン分泌の調節
（1）神経性調節　（2）自己調節
（3）促進・抑制ホルモンによる調節
（4）正・負のフィードバック
2）ホルモンによる調節の実際</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td colspan="4">筆記試験</td></tr>
<tr><td>テキスト</td><td colspan="4">系統看護学講座　専門基礎　解剖生理学　人体の構造と機能①（医学書院）</td></tr>
<tr><td>参考文献</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

【解剖生理学Ⅲ】

自己学習時間	15 時間	事前・事後学習	テキストで事前学習・事後学習を行い知識の定着を図る

<table>
<tr><td rowspan="3">授業科目</td><td colspan="2" rowspan="3">解剖生理学Ⅳ（脳神経・感覚器系）</td><td>対象学年・時期</td><td>1 年次・前期</td></tr>
<tr><td>単位数</td><td>1</td></tr>
<tr><td>時間数</td><td>30</td></tr>
<tr><td rowspan="2">講師名</td><td colspan="2" rowspan="2">医師</td><td>講義時間</td><td>23</td></tr>
<tr><td>テスト時間</td><td>1(45 分)</td></tr>
<tr><td>学習目標</td><td colspan="4">1. 脳神経系、感覚器の解剖生理について理解する（脳神経）</td></tr>
<tr><td>回数</td><td>主題</td><td colspan="2">学習内容及び方法</td><td>講義形態</td></tr>
<tr><td>1 回</td><td>1. 神経系の構造と機能</td><td colspan="2">1）神経細胞と支持細胞
2）ニューロンでの興奮の伝導
3）シナプスでの興奮の伝達
4）神経系の構造</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>2 回
3 回</td><td>2. 脊髄と脳</td><td colspan="2">1）脊髄の構造と機能
2）脳の構造と機能</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>4 回
5 回</td><td>3. 脊髄神経と脳神経</td><td colspan="2">1）脊髄神経の構造と機能
2）脳神経の構造と機能</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>6 回
7 回</td><td>4. 脳の高次機能</td><td colspan="2">1）脳波と睡眠　2）記憶　3）本能行動と情動行動
4）内臓調節機能　5）中枢神経系の障害</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>8 回</td><td>5. 運動機能と下行伝導路</td><td colspan="2">1）運動ニューロン
2）下行伝導路</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>9 回</td><td>6. 感覚機能と上行伝導路</td><td colspan="2">1）感覚の種類　2）感覚の性質　3）体性感覚の受容器
4）皮膚の感覚受容器の分布　5）上行（求心）伝導路</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>10 回
11 回</td><td>7. 痛み（疼痛）</td><td colspan="2">1）痛みの分類
①体性痛と内臓痛　②誘因による痛みの分類
③急性痛と慢性痛
2）疼痛の発生機序
①疼痛の原因　②疼痛の伝導　③内因性鎮痛物質</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>12 回</td><td>まとめ・終講試験</td><td colspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td colspan="4">筆記試験</td></tr>
<tr><td>テキスト</td><td colspan="4">系統看護学講座　専門基礎　解剖生理学　人体の構造と機能①（医学書院）</td></tr>
<tr><td>参考文献</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

授業科目	解剖生理学Ⅳ（脳神経・感覚器系）		対象学年・時期	1年次・前期
			単位数	1
			時間数	30
講師名	医師		講義時間	4
			テスト時間	試験別
学習目標	1. 脳神経系、感覚器の解剖生理について理解する（耳鼻科）			
回数	主題	学習内容及び方法		講義形態
1回	1. 耳の構造と聴覚・平衡覚	1）耳の構造　2）聴覚　3）平衡覚		講義
2回	2. 味覚と嗅覚	1）味覚器と味覚　2）嗅覚器と嗅覚		講義
評価方法	筆記試験			
テキスト	系統看護学講座　専門基礎　解剖生理学　人体の構造と機能①（医学書院）			
参考文献				

授業科目	解剖生理学Ⅳ（脳神経・感覚器系）		対象学年・時期	1年次・前期
			単位数	1
			時間数	30
講師名	医師		講義時間	2
			テスト時間	試験別
学習目標	1．脳神経系、感覚器の解剖生理について理解する（眼科）			
回数	主題	学習内容及び方法		講義形態
1回	1．眼の構造と視覚	1）眼球の構造 2）眼球附属器 3）視覚		講義
評価方法	筆記試験			
テキスト	系統看護学講座　専門基礎　解剖生理学　人体の構造と機能①（医学書院）			
参考文献				

【解剖生理学Ⅳ】

自己学習時間	15時間	事前・事後学習	テキストで事前学習・事後学習を行い知識の定着を図る

授業科目	疾病と治療（総論）：疾病の成り立ち	対象学年・時期	1年次・前期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	医師	講義時間	12
		テスト時間	試験別
学習目標	1. 健康から疾病に至る変化の過程を日常生活との関連で理解する 2. さまざまな疾病がもたらす身体内部の変化を理解する		

回数	主題	学習内容及び方法	講義形態
1回	1. 病気と病理学	1）病気とは　2）病気の見方　3）病理学を学ぶ	講義
	2. 老化	1）老化現象　2）老化に関連した病気 3）老化のメカニズム 4）人間の死　（1）死の三徴候　（2）脳死　5）死後硬直	
	3. 組織・細胞に生じる異常と修復	1）細胞、組織、臓器　2）細胞障害と形態変化 3）細胞増殖と分化　4）創傷、修復	
2回	4. 炎症	1）外因と内因　2）急性炎症　3）慢性炎症	講義
	5. 免疫とその異常	1）生体防御と免疫　2）免疫とは何か 3）アレルギー　4）移植臓器、組織に対する免疫反応	
3回	6. 止血と循環	1）循環系のしくみ　2）止血のしくみと異常 2）微小循環の異常　3）血栓、塞栓、梗塞 4）全身循環の異常	講義
4回	7. 先天異常	1）先天異常　2）奇形　3）染色体異常 4）遺伝子異常	講義
	8. 感染症	1）主な病原体　2）生体防御のしくみ　3）感染の成立 4）代表的な感染症	
5回 6回	9. 癌	1）腫瘍とは　2）腫瘍の発生　3）発癌物質と変異原生	講義
	10. 生活習慣病	1）動脈硬化　2）高血圧　3）糖尿病 4）肥満症	
	11. 難病	1）免疫不全　2）自己免疫疾患　3）血管炎 2）染色体の異常	

評価方法	筆記試験
テキスト	新体系　看護学全書　疾病の成り立ちと回復の促進①　病理学　メヂカルフレンド社 新体系　看護学全書別巻　病態と診療の基礎　メヂカルフレンド社
参考文献	

<table>
<tr><td rowspan="3">授業科目</td><td colspan="2" rowspan="3">疾病と治療（総論）：診断と検査</td><td>対象学年・時期</td><td>1年次・前期</td></tr>
<tr><td>単位数</td><td>1</td></tr>
<tr><td>時間数</td><td>30</td></tr>
<tr><td rowspan="2">講師名</td><td colspan="2" rowspan="2">医師</td><td>講義時間</td><td>2</td></tr>
<tr><td>テスト時間</td><td>試験別</td></tr>
<tr><td>学習目標</td><td colspan="4">1. 診断に結びつく各種検査の内容を理解する</td></tr>
<tr><td>回数</td><td>主題</td><td colspan="2">学習内容及び方法</td><td>講義形態</td></tr>
<tr><td rowspan="2">1回</td><td>1. 検査の進め方と各種検査法</td><td colspan="2">1）臨床検査とは
2）臨床検査の流れ
3）臨床検査データの読み方
4）検体の採取・提出上の注意事項</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>2. 各種検査</td><td colspan="2">1）一般検査
2）血液検査
3）生化学検査
4）内分泌検査
5）感染症検査
6）免疫的検査
7）腫瘍マーカー
8）生理学的検査
9）病理検査</td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td colspan="4">筆記試験</td></tr>
<tr><td>テキスト</td><td colspan="4">新体系　看護学全書　別巻　病態と診療の基礎　メヂカルフレンド社</td></tr>
<tr><td>参考文献</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="3">授業科目</td><td colspan="2" rowspan="3">疾病と治療（総論）：治療法</td><td>対象学年・時期</td><td>1 年次・前期</td></tr>
<tr><td>単位数</td><td>1</td></tr>
<tr><td>時間数</td><td>30</td></tr>
<tr><td rowspan="2">講師名</td><td colspan="2" rowspan="2">医師</td><td>講義時間</td><td>2</td></tr>
<tr><td>テスト時間</td><td>試験別</td></tr>
<tr><td>学習目標</td><td colspan="4">1. 様々な機能障害を治療する方法について理解する</td></tr>
<tr><td>回数</td><td>主題</td><td colspan="2">学習内容及び方法</td><td>講義形態</td></tr>
<tr><td>1 回</td><td>1. 治療法</td><td colspan="2">1）薬物療法とは
①薬物とは　②薬物の使用目的

2）食事療法とは
①目的　②栄養と疾病の関係

3）運動療法とは
①目的　②種類と特徴

4)リハビリテーションとは
①目的　②適応</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td colspan="4">筆記試験</td></tr>
<tr><td>テキスト</td><td colspan="4">新体系　看護学全書　別巻　治療法概説　　　　メヂカルフレンド社</td></tr>
<tr><td>参考文献</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

授業科目	疾病と治療（総論）：治療法	対象学年・時期	1年次・前期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	医師	講義時間	2
		テスト時間	試験別
学習目標	1．様々な機能障害を治療する方法について理解する		

回数	主題	学習内容及び方法	講義形態
1回	1．画像診断	1）画像診断とは何か 2）画像診断の種類	講義
	2．放射線療法の目的と適応	1）放射線療法の目的と適応 2）種類と特徴 3）方法	

評価方法	筆記試験
テキスト	新体系　看護学全書別巻　病態と診療の基礎　　メヂカルフレンド社 新体系　看護学全書　別巻　治療法概説　　　　メヂカルフレンド社
参考文献	

授業科目	疾病と治療（総論）：治療法	対象学年・時期	1年次・前期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	医師	講義時間	7
		テスト時間	1(45分)
学習目標	1．様々な機能障害を治療する方法について理解する		

回数	主題	学習内容及び方法	講義形態
1回	1．手術療法の目的	1）手術療法の分類	講義
	2．麻酔の知識	1）麻酔とは 2）全身麻酔と局所麻酔 3）疼痛への対応 術後急性疼痛	
2回	3．周術期管理と術後合併症の管理	1）術前管理 2）術中の管理 3）術後管理 4）術後合併症の管理	講義
3回	4．外科侵襲と生体の反応	1）手術侵襲と生体反応 2）主な生体反応とは 3）近年の手術の動向と手術侵襲 ①腫瘍外科手術 ②内視鏡下手術	講義
4回	まとめ・終講試験		

評価方法	筆記試験
テキスト	新体系　看護学全書　別巻　治療法概説　　　メヂカルフレンド社
参考文献	

授業科目	疾病と治療（総論）：疼痛緩和	対象学年・時期	1 年次・前期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	医師	講義時間	4
		テスト時間	試験別
学習目標	1. 様々な機能障害を治療する方法について理解する		

回数	主題	学習内容及び方法	講義形態
1 回	1. 緩和医療学と緩和ケア	1）緩和医療学 2）緩和ケアの基本的考え方と対象	講義
	2. 緩和医療が目ざすもの	1）全人的苦痛の理解 2）チーム医療の意義 3）家族のケア	
2 回	3. 全人的苦痛の緩和	1）身体的苦痛の緩和 （1）疼痛症状とその病態 （2）疼痛の緩和 （3）オピオイドの使用法 （4）オピオイド使用時の問題点と対応 （5）疼痛以外の症状への対応 2）精神的苦痛の緩和 3）社会的苦痛の緩和 4）スピリチュアルペインの緩和 5）苦痛緩和のための鎮静	講義

評価方法	筆記試験
テキスト	系統看護学講座　専門Ⅰ　臨床看護総論　基礎看護学④（医学書院）
参考文献	

【疾病と治療総論】

自己学習時間	30 時間	事前・事後学習	テキストで事前学習・事後学習を行い知識の定着を図る

授業科目	疾病と治療Ⅰ（運動機能障害と治療） :運動機能障害と治療	対象学年・時期	1年次・後期
		単位数	1
		時間数	15
講師名	医師	講義時間	10
		テスト時間	試験別
学習目標	1．運動機能の障害とその治療について理解する		

回数	主題	学習内容及び方法	講義形態
1回	1．運動機能障害の症状と病態生理	1)症状とその病態生理 (1)疼痛(2)形態の異常(3)関節運動の異常 (4)神経の障害(5)筋肉の障害	講義
2回	2．骨・関節・筋肉の疾患の診断と治療	1)骨・関節・筋肉の疾患とその治療 (1)診断・検査と治療・処置 検査:画像検査、骨密度の測定、電気生理学的検、関節鏡、臨床検査、関節液検査、生検 治療・処置:保存療法(非観血的治療)、理学療法と作業療法、手術療法	講義
3回	3．主な疾患と治療	1)主な疾患:外傷性の運動器疾患 (1)骨折　(2)脱臼　(3)捻挫および打撲 (4)神経損傷　(5)筋・腱・靭帯などの損傷骨	講義
4回		2)内因性の運動器疾患 (1)先天性疾患 (2)骨・関節の炎症性疾患 （関節リウマチ、変形性関節症） (3)骨腫瘍および軟部腫瘍、代謝性骨疾患 （骨粗鬆症、くる病、副甲状腺機能亢進症） (4)腱の疾患　(5)神経・筋疾患 (6)上肢および上肢帯の疾患　(7)脊椎の疾患 (8)下肢および下肢帯の疾患	講義
5回		3)活動や行動が制限されることにより発生する疾病と治療 (1)運動器不安定症　(2)フレイル　(3)サルコペニア (4)廃用症候群	講義

評価方法	筆記試験
テキスト	系統看護学講座　専門Ⅱ　運動器　成人看護学⑩(医学書院)
参考文献	

授業科目	疾病と治療Ⅰ（運動機能障害と治療） :リハビリテーション		対象学年・時期	1 年次・後期
			単位数	1
			時間数	15
講師名	医師		講義時間	4
			テスト時間	1(45 分)
学習目標	1. 運動機能の障害とその治療について理解する			
回数	主題	学習内容及び方法		講義形態
1 回	1. 運動機能障害のリハビリテーション	1)リハビリテーション (1)リハビリテーションの定義と理念 (2)リハビリテーションの対象と制度 (3)リハビリテーション医療の提供 2)運動器系の障害とリハビリテーション (1)骨折のリハビリテーション (2)関節リウマチのリハビリテーション (3)合併症の予防と管理		講義
2 回	2. 中枢神経系の障害とリハビリテーション	3)中枢神経系の障害とリハビリテーション: (1)脳血管障害のリハビリテーション (2)パーキンソン病のリハビリテーション (3)脊髄損傷のリハビリテーション (4)合併症の予防と管理		講義
3 回	終講試験			
評価方法	筆記試験			
テキスト	系統看護学講座　専門Ⅱ　運動器　成人看護学⑩(医学書院) 系統看護学講座　別巻　リハビリテーション看護(医学書院)			
参考文献				

【疾病と治療Ⅰ】

自己学習時間	30 時間	事前・事後学習	テキストで事前学習・事後学習を行い知識の定着を図る

授業科目	疾病と治療Ⅱ（呼吸・循環・造血機能障害と治療） ：呼吸機能障害と治療		対象学年・時期	1年次・後期
			単位数	1
			時間数	30
講師名	医師		講義時間	10
			テスト時間	試験別
学習目標	1．呼吸機能の障害とその治療について理解する			
回数	主題	学習内容及び方法		講義形態
1回	1．呼吸機能の障害の症状と病態生理	1）症状とその病態生理 （1）自覚症状：咳嗽、喀痰、血痰・喀血、胸痛、 呼吸困難 （2）他覚症状：チアノーゼ、ばち指、発熱、 呼吸の異常、声の異常、いびき、意識障害		講義
2回	2．呼吸器疾患の検査と治療・処置	1）診断・検査 血液検査、喀痰検査、胸水検査、画像診断 内視鏡検査、生検、呼吸機能検査 2）治療・処置 吸入療法、酸素療法、人工呼吸療法、 呼吸リハビリテーション、気道確保、胸腔ドレナージ、 呼吸器外科の手術		講義
3回 4回	3．主な呼吸器疾患と治療	1）感染による気道・肺の炎症 （1）かぜと急性気管支炎　（2）インフルエンザ （3）肺炎　（4）結核　（5）間質性肺疾患 2）気管支の疾患 （1）気管支喘息　（2）気管支拡張症 3）肺の腫瘍 （1）良性腫瘍 （2）悪性腫瘍（原発性肺がん、転移性肺腫瘍） 4）胸膜・縦隔・横隔膜の疾患 （1）胸膜炎（2）膿胸（3）自然気胸（4）巨大肺嚢胞 （5）縦隔炎（6）横隔膜麻痺		講義
5回		5）急性および慢性呼吸不全 （1）肺胞低換気とガス交換障害 （2）急性呼吸不全・慢性呼吸不全 （慢性閉塞性肺疾患、肺線維症） （3）呼吸機能の障害による循環機能への影響と その治療 （4）肺血栓塞栓症、肺高血圧症		講義
評価方法	筆記試験			
テキスト	系統看護学講座　専門Ⅱ　呼吸器　成人看護学②（医学書院）			
参考文献				

授業科目	疾病と治療Ⅱ（呼吸・循環・造血機能障害と治療） ：循環機能障害と治療	対象学年・時期	1 年次・後期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	医師	講義時間	13
		テスト時間	1(45 分)
学習目標	1. 循環機能の障害とその治療について理解する 2. 生命の危機状態とその対処方法について理解する		

回数	主題	学習内容及び方法	講義形態
1 回	1. 循環機能の障害の症状と病態生理	1)症状とその病態生理 胸痛、動悸、呼吸困難、浮腫、チアノーゼ、 四肢の疼痛	講義
	2. 循環器疾患の検査・治療・処置	1)診断・検査 心電図、胸部 X 線、心エコー、脳波 心臓カテーテル、血行動態モニタリング、核医学 2)治療 内科的治療（薬物療法、PCI、ペースメーカー） 外科的治療（CABG、弁膜症の手術、 大血管再建術、血栓除去術） 補助循環装置	講義
2 回	3. 主な循環器疾患と治療	1)出生前の異常による心機能の障害 (1)動脈開存症 (2)心房中隔欠損症 (3)心室中隔欠損症 (4)ファロー四徴症 (5)完全大血管転位（換）症 2)心筋の酸素欠乏による心機能障害 (1)心筋症(2)心筋炎(3)心臓の腫瘍 3)心機能の低下をきたした状態 (1)左心不全(2)右心不全	講義
3 回		4)心臓のリズムの障害 (1)徐脈性不整脈(2)頻脈性不整脈 5)血液の供給を障害する血管の疾病 (1)安定冠状動脈疾患 (2)急性冠症候群 (3)冠状動脈硬化の危険因子	講義
4 回		5)血圧の異常 (1)高血圧の基準・分類とその影響 (2)本態性高血圧・本態性低血圧 (3)二次性高血圧 6)後天的に心機能の障害を引き起こす疾病 (1)弁膜症（僧房弁狭窄症、僧房弁閉鎖不全症、大動脈弁狭窄症、大動脈弁閉鎖不全症） (2)心膜炎 （急性心膜炎、心タンポナーデ、慢性心膜炎）	講義

5回		7)循環機能の変化を伴う体温の上昇 (1)動脈系疾患(大動脈瘤、大動脈解離、動脈の閉塞性疾患) (2)静脈系疾患(血栓性静脈炎・静脈血栓症、深部静脈血栓症、静脈瘤、肺塞栓症) (3)リンパ系疾患(リンパ肝炎、リンパ節炎、リンパ浮腫)	講義
6回	4．生命の危機とその治療	1)ショック 心原性ショック、循環血液量減少性ショック、 心外閉塞・拘束性ショック、血液分布異常性ショック 2)播種性血管内凝固症候群(DIC) 3)多臓器不全 4)生命の危機をもたらす損傷 多発外傷、広範囲熱傷、急性中毒 5)死の徴候	講義
7回	まとめ・終講試験		
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座　専門Ⅱ　循環器　成人看護学③(医学書院)		
参考文献			

授業科目	疾病と治療Ⅱ（呼吸・循環・造血機能障害と治療） ：造血機能障害と治療		対象学年・時期	1年次・後期
			単位数	1
			時間数	30
講師名	医師		講義時間	6
			テスト時間	試験別
学習目標	1．造血機能の障害とその治療について理解する			
回数	主題	学習内容及び方法		講義形態
1回	1．造血機能障害の症状とその病態生理 2．造血機能障害の検査と治療	1）症状とその病態生理 (1)貧血、発熱、リンパ節腫脹・脾腫、出血傾向 2）検査 (1)末梢血検査(2)骨髄穿刺・骨髄生検、 (3)出血傾向の検査(4)リンパ節生検 3）治療 (1)輸血療法(2)化学療法(3)放射線療法 (4)造血幹細胞移植		講義
2回	3．造血機能に関わる主な疾患	1）血液疾患 (1)赤血球系 ①鉄欠乏性貧血②巨赤芽球性貧血③再生不良性貧血④溶血性貧血 (2)白血球系 ①無顆粒球症②顆粒球機能異常症 ③伝染性単核球症		講義
3回		2）造血器疾患 (1)急性白血病(2)異形成症候群 (3)慢性骨髄性白血病(4)骨髄増殖性腫瘍 (5)慢性リンパ球性白血病 (6)成人T細胞白血病リンパ腫 (7)悪性リンパ腫(8)多発性骨髄腫 3）出血傾向がある疾患 (1)アレルギー性紫斑病　(2)血小板減少性紫斑病 (3)血友病、(4)播種性血管内凝固症候群(DIC)		講義
評価方法	筆記試験			
テキスト	系統看護学講座　専門Ⅱ　血液・造血器　成人看護学④（医学書院）			
参考文献				

【疾病と治療Ⅱ】

自己学習時間	15時間	事前・事後学習	テキストで事前学習・事後学習を行い知識の定着を図る

授業科目	疾病と治療Ⅲ （吸収・代謝・排泄機能障害と治療） ：消化器	対象学年・時期	1年次・後期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	医師	講義時間	13
		テスト時間	1（45分）
学習目標	1. 栄養摂取（食）の障害と治療について理解する 2. 肝機能・糖代謝、脂質・尿酸代謝の障害と治療について理解する 3. 排泄機能の障害と治療について理解する		

回数	主題	学習内容及び方法	講義形態
1回 2回	1. 栄養摂取（食）の障害と治療 2. 消化機能障害の症状と病態生理	1）栄養摂取の障害 （1）摂取エネルギーの過不足 （2）必須栄養素の不足 2）症状とその病態生理 （1）自覚症状：嚥下困難、悪心・嘔吐、胸やけ 腹痛、食欲不振、腹部膨満、吃逆 （2）他覚症状：吐血、下血、血便、下痢、便秘 腹水、体重減少、黄疸、意識障害 摂取エネルギーの不足 必須栄養素の不足	講義
3回 4回	3. 主な消化器の疾患の症状と検査・治療 4. 排泄機能の障害の症状と治療	1）消化器疾患とその治療 （1）検査 糞便検査、肝機能検査、膵機能検 内視鏡検査、画像検査、肝生検、栄養状態のアセスメント （2）治療 薬物療法、栄養療法、食事療法　手術療法、放射線療法 2）消化管の主な疾患 （1）食道疾患 ①食道ｱｶﾗｼｱ②胃食道逆流症③食道静脈瘤 （2）胃・十二指腸疾患 ①機能性ディスペプシア②胃炎 ③胃十二指腸潰瘍④ピロリ感染症 （3）腸・腹膜疾患 ①過敏性腸症候群②腸炎③腹膜炎④虫垂炎 ⑤憩室⑥大腸ポリープ・ポリポーシス⑦ヘルニア ⑧イレウス⑨腸内寄生虫疾患 （4）肛門疾患 ①直腸脱②肛門周囲膿瘍③痔瘻④痔核⑤裂肛 （5）消化管の腫瘍 ①食道がん②胃がん③大腸がん	講義

5回 6回	5. 肝臓・胆のう・膵臓の機能障害と治療	1）肝臓・胆のう・膵臓の構造と機能 （1）肝臓の構造と機能 （2）胆道系の構造と機能 （3）膵臓の構造と機能 2）主な疾患 （1）肝疾患 ①肝炎②肝硬変③肝不全④門脈亢進症 ⑤脂肪肝⑥肝寄生虫疾患⑦肝がん⑧肝外傷 （2）胆道疾患 ①胆のう炎・胆管炎②胆石症③胆のうポリープ ④胆のうがん・胆管がん （3）膵疾患 ①膵炎②膵がん	講義
	6．その他の治療を要する疾患	1）その他治療を要する疾患 （1）急性腹症 （2）腹部外傷	講義
7 回	まとめ・終講試験		
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座　専門Ⅱ　消化器　成人看護学⑤（医学書院）		
参考文献			

<table>
<tr><td rowspan="3">授業科目</td><td colspan="2" rowspan="3">疾病と治療Ⅲ
（吸収・代謝・排泄機能障害と治療）
：歯・口腔</td><td>対象学年・時期</td><td>1年次・後期</td></tr>
<tr><td>単位数</td><td>1</td></tr>
<tr><td>時間数</td><td>30</td></tr>
<tr><td rowspan="2">講師名</td><td colspan="2" rowspan="2">医師</td><td>講義時間</td><td>2</td></tr>
<tr><td>テスト時間</td><td>試験別</td></tr>
<tr><td>学習目標</td><td colspan="4">1．歯・口腔機能の障害と治療について理解する</td></tr>
<tr><td>回数</td><td>主題</td><td>学習内容及び方法</td><td colspan="2">講義形態</td></tr>
<tr><td>1回</td><td>1．歯・口腔機能障害とその治療</td><td>1）症状とその病態生理
（1）口腔症状：疼痛・腫脹・出血・欠損・乾燥など
（2）顎口腔機能障害
：呼吸障害、開口障、咀嚼障害、嚥下障害、言語障害、味覚障害
2）歯・口腔疾患とその治療
（1）診察・検査
：歯と歯周組織検査、下顎運動検査
咀嚼機能検査、嚥下機能検査、口腔乾燥検査、言語機能検査、味覚検査、X線検査
（2）治療：保存歯科療法、口腔外科治療、矯正歯科治療、歯・口腔疾患リハビリテーション
歯・口腔疾患の予防（口腔清掃）
3）主な疾患
（1）歯・歯周組織の主な疾患
①齲歯②歯肉炎③歯周炎④
（2）顎・口腔の主な疾患
①先天異常②損傷③感染症④嚢胞⑤腫瘍
⑥口腔粘膜疾患
（3）顎関節・咀嚼筋の疾患
（4）唾液腺の疾患
（5）神経系疾患
（6）疼痛性疾患
（7）心因性病態</td><td colspan="2">講義</td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td colspan="4">筆記試験</td></tr>
<tr><td>テキスト</td><td colspan="4">系統看護学講座　専門Ⅱ　歯・口腔　成人看護学⑮（医学書院）</td></tr>
<tr><td>参考文献</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>授業科目</td><td colspan="2">疾病と治療Ⅲ
（吸収・代謝・排泄機能障害と治療）
：泌尿器</td><td>対象学年・時期
単位数
時間数</td><td>1年次・後期
1
30</td></tr>
<tr><td>講師名</td><td colspan="2">医師</td><td>講義時間
テスト時間</td><td>8
試験別</td></tr>
<tr><td>学習目標</td><td colspan="4">1．排泄機能の障害と治療について理解する</td></tr>
<tr><td>回数</td><td>主題</td><td colspan="2">学習内容及び方法</td><td>講義形態</td></tr>
<tr><td>1回
2回</td><td>1．排泄機能の障害の症状と病態生理</td><td colspan="2">1）症状とその病態生理
（1）主な症状：
排尿の異常、尿の異常（尿量・尿性状）
疼痛、脱水、腫瘤、発熱、血液の異常</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>3回
4回</td><td>2．泌尿器疾患の診断と検査、治療</td><td colspan="2">1）診断・検査
（1）尿検査（2）分泌物検査（3）画像検査
（4）内視鏡検査（5）尿流動態検査（6）生検
2）治療
（1）薬物療法（2）手術療法（3）放射線療法
（4）導尿法（5）尿道拡張法（6）膀胱穿刺
（7）膀胱洗浄
3）泌尿器の主な疾患
（1）感染症：①膀胱炎②尿道炎③尿路結核
④淋菌性尿道炎⑤非淋菌性尿道炎
（2）結石症：①上部尿路結石②下部尿路結石
（3）尿路閉塞、排尿機能の障害：
①水腎症②膀胱尿管逆流症③神経因性膀胱
④前立腺肥大症⑤尿失禁
（4）腫瘍：①尿管腫瘍②膀胱腫瘍③尿道腫瘍
（5）損傷：①尿管損傷②膀胱損傷③尿道損傷
（6）形態・先天異常：</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td colspan="4">筆記試験</td></tr>
<tr><td>テキスト</td><td colspan="4">系統看護学講座　専門Ⅱ　腎・泌尿器　成人看護学⑧（医学書院）</td></tr>
<tr><td>参考文献</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="3">授業科目</td><td rowspan="3" colspan="2">疾病と治療Ⅲ
(吸収・代謝・排泄機能障害と治療)
:腎</td><td>対象学年・時期</td><td>1年次・後期</td></tr>
<tr><td>単位数</td><td>1</td></tr>
<tr><td>時間数</td><td>30</td></tr>
<tr><td rowspan="2">講師名</td><td rowspan="2" colspan="2">医師</td><td>講義時間</td><td>6</td></tr>
<tr><td>テスト時間</td><td>試験別</td></tr>
<tr><td>学習目標</td><td colspan="4">1. 腎機能の障害と治療について理解する</td></tr>
<tr><td>回数</td><td>主題</td><td colspan="2">学習内容及び方法</td><td>講義形態</td></tr>
<tr><td>1回</td><td>1. 腎機能障害の症状と病態生理</td><td colspan="2">1)症状とその病態生理
(1)主な症状:
浮腫、脱水、発熱、循環器系の異常、尿毒症
水・電解質の異常、酸塩基平衡の障害、腫瘤、
血液の異常、視力の異常</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>2回
3回</td><td>2. 主な腎臓疾患と治療</td><td colspan="2">1)診断・検査
(1)尿検査
(2)腎機能検査
(3)画像診断
(4)生検
2)治療
(1)薬物療法(2)透析療法(2)手術療法(3)腎移植
(4)放射線療法(5)安静・食事療法
3)腎臓の主な疾患
(1)腎不全:①急性腎不全②慢性腎不全
(2)腎障害:①急性腎障害
(3)腎臓病:①慢性腎臓病
(4)ネフローゼ症候群
(5)糸球体腎炎:
①急性糸球体腎炎②慢性糸球体腎炎
(6)全身性疾患による腎障害:
①糖尿病性腎症②膠原病による腎障害
③アミロイド腎症④高尿酸血症による腎障害
⑤感染症による腎障害⑦多発性骨髄腫
(7)腎血管疾患:
①高血圧性腎硬化症②腎血管性高血圧③腎梗塞
④腎静脈血栓症
(8)尿細管間質疾患:
①腎性尿崩症②ファンコニ症候群
③尿細管性アシドーシス
(9)感染症:①腎盂腎炎②腎膿瘍</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td colspan="4">筆記試験</td></tr>
</table>

テキスト	系統看護学講座　専門分野Ⅱ　腎・泌尿器　成人看護学⑧（医学書院）
参考文献	

【疾病と治療Ⅲ】

自己学習時間	15 時間	事前・事後学習	テキストで事前学習・事後学習を行い知識の定着を図る

授業科目	疾病と治療Ⅳ （中枢神経・感覚機能障害と治療）：脳神経外科	対象学年・時期	1年次・後期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	医師	講義時間	11
		テスト時間	1（45分）
学習目標	1. 中枢神経機能の障害とその治療について理解する		

回数	主題	学習内容及び方法	講義形態
1回	1. 脳・神経系の疾患の症状と病態生理	1）症状とその病態生理 （1）意識障害　（2）高次機能障害　（3）運動機能障害 （4）感覚機能障害　（5）自律性のある機能の障害 （6）頭蓋内圧亢進症状と脳ヘルニア （7）髄膜刺激症状　（8）頭痛、めまい	講義
2回 3回	2. 脳・神経系の検査と治療	2）疾患とその治療 （1）検査・診断と治療・処置 神経学的診察法 検査：画像診断、脳血管撮影、脳波検査、 脳脊髄液検査 治療： ①外科的治療法（開頭手術、穿頭術、脳室−腹腔短絡術） ②内科的治療法（薬物治療、血漿交換療法）	講義
4回 5回	3. 脳・神経系の主な疾患と治療	3）脳血管系と循環器障害と治療 クモ膜下出血、脳出血、もやもや病、脳腫瘍 4）頭蓋内圧亢進を伴う疾病と治療 水頭症 5）頭部の外傷と治療 急性硬膜外血腫、急性硬膜下血腫、脳挫傷 6）脊髄疾患 脊髄腫瘍、脊髄空洞症	講義
6回	まとめ・終講試験		
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座　専門分野Ⅱ　脳・神経　成人看護学⑦（医学書院）		
参考文献			

<table>
<tr><td rowspan="3">授業科目</td><td colspan="2" rowspan="3">疾病と治療Ⅳ
（中枢神経・感覚機能障害と治療）：脳神経内科</td><td>対象学年・時期</td><td>1年次・後期</td></tr>
<tr><td>単位数</td><td>1</td></tr>
<tr><td>時間数</td><td>30</td></tr>
<tr><td rowspan="2">講師名</td><td colspan="2" rowspan="2">医師</td><td>講義時間</td><td>8</td></tr>
<tr><td>テスト時間</td><td>試験別</td></tr>
<tr><td>学習目標</td><td colspan="4">1．中枢神経機能の障害とその治療について理解する</td></tr>
<tr><td>回数</td><td>主題</td><td colspan="2">学習内容及び方法</td><td>講義形態</td></tr>
<tr><td>1回</td><td>1．脳血管系の疾患と治療</td><td colspan="2">1）脳・脊髄の疾患とその治療
(1) 主な疾患：脳血管系と循環器障害と治療
脳梗塞、一過性脳虚血発作、高血圧性脳症
(2) 主な疾患：脊髄疾患
脊髄炎、亜急性連合性脊髄変性症、頚椎症</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>2回</td><td>2．末梢神経疾患と治療</td><td colspan="2">(3) 主な疾患：末梢神経障害と治療
糖尿病性ニューロパチー、ギラン−バレー症候群、手根管症候群
(4) 主な疾患：筋疾患・神経接合部疾患と治療
筋ジストロフィー、筋炎、重症筋無力症</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>3回</td><td>3．神経変性・脱髄性疾患と治療</td><td colspan="2">(5) 主な疾患：神経変性・脱髄性の疾病と治療
多発性硬化症、パーキンソン病、脊髄小脳変性症
筋委縮性側索硬化症
(6) 主な疾患：微生物の中枢神経への感染症と治療
脳炎、髄膜炎、クロイツフェルト−ヤコブ病</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>4回</td><td>4．認知機能障害と治療</td><td colspan="2">(7) 主な疾患：認知・コミュニケーション機能の障害と治療
アルツハイマー病、血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症
(8) 主な疾患：二次的に意識障害・神経障害を起こす疾病と治療
神経ベーチェット病、サルコイドーシス
(9) 主な疾患：てんかん</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td colspan="4">筆記試験</td></tr>
<tr><td>テキスト</td><td colspan="4">系統看護学講座　専門分野Ⅱ　脳・神経　成人看護学⑦（医学書院）</td></tr>
<tr><td>参考文献</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

授業科目	疾病と治療Ⅳ （中枢神経・感覚機能障害と治療）：眼	対象学年・時期	1年次・後期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	医師	講義時間	4
		テスト時間	試験別
学習目標	1．感覚機能の障害とその治療について理解する		

回数	主題	学習内容及び方法	講義形態
1回	1．視覚機能の障害の症状と病態生理	1）症状と病態生理 (1)視機能に関連した症状 視力障害、視野異常、複視など (2)視機能に関連しない症状 充血、流涙、眼脂、羞明、眼痛など	講義
	2．視覚機能障害の診断と治療	1）診断・検査（1）視力検査（2）屈折検査（3）細隙灯顕微鏡検査（4）眼底検査、眼圧検査、視野検査　など 2）治療・処置 薬物療法、屈折矯正、レーザー治療、手術　など ⑵主な疾患：機能の障害 近視、遠視、乱視、弱視、斜視、眼筋麻痺など	
2回	3．視覚機能障害の主な疾患と治療	1）主な疾患 （1）眼瞼の疾患：麦粒腫、霰粒腫、眼瞼下垂など （2）結膜の疾患：細菌性結膜炎、流行性結膜炎、咽頭結膜熱、アレルギー性結膜炎など （3）涙器の疾患：鼻涙管閉塞など （4）角膜の疾患：角膜びらん、角膜炎、円錐角膜など （5）強膜の疾患：強膜炎 （6）ぶどう膜疾患：原田病、ベーチェット病など （7）網膜・硝子体の疾患：糖尿病性網膜症、網膜剥離、加齢性黄斑変性症など （8）水晶体の疾患：白内障 （9）緑内障 （10）眼球・眼窩の疾患 （11）視神経・視路の疾患：視神経炎など	講義
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座　専門分野Ⅱ　眼　成人看護学⑬（医学書院）		
参考文献			

授業科目	疾病と治療Ⅳ （中枢神経・感覚機能障害と治療）：耳鼻咽喉	対象学年・時期	1年次・後期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	医師	講義時間	6
		テスト時間	試験別
学習目標	1. 感覚機能の障害とその治療について理解する		

回数	主題	学習内容及び方法	講義形態
1回	1. 耳鼻咽喉・頚部の機能障害の症状と病態生理	1）症状とその病態生理 (1)耳にあらわれる症状と病態生理：難聴、耳鳴など (2)鼻にあらわれる症状と病態生理：鼻閉、鼻出血など (3)口腔・唾液腺・咽頭にあらわれる症状と病態生理：咽頭痛、嚥下障害など (4)喉頭にあらわれる症状と病態生理：音声・言語障害、呼吸障害など	講義
2回	2. 聴覚機能障害の検査と治療	1）聴覚機能の障害とその治療 (1)診察：主な器材・器具、診察法 (2)検査：聴力検査、平衡機能検査、内視鏡検査など (3)治療：耳洗浄、鼻腔洗浄、点耳、点鼻、ネブライザー法、手術など	講義
3回	3. 耳鼻咽喉の主な疾患と治療	1）耳疾患 ①外耳疾患　②中耳疾患　③内耳・後迷路性疾患 2）鼻疾患 ①外鼻疾患　②鼻腔疾患　③副鼻腔疾患 3）口腔・咽喉頭疾患 ①口腔疾患　②咽頭疾患　③唾液腺疾患 ④喉頭疾患 4）気道・食道・頸部疾患と音声・言語障害 ①気道・食道疾患　②頸部疾患　③音声・言語障害	講義
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座　専門分野Ⅱ　耳鼻咽喉　成人看護学⑭（医学書院）		
参考文献			

【疾病と治療Ⅳ】

自己学習時間	15時間	事前・事後学習	テキストで事前学習・事後学習を行い知識の定着を図る

<table>
<tr><td rowspan="3">授業科目</td><td rowspan="3">疾病と治療Ⅴ
（内部環境・生体防御機能障害と治療）
：内分泌・代謝</td><td>対象学年・時期</td><td>1年次・後期</td></tr>
<tr><td>単位数</td><td>1</td></tr>
<tr><td>時間数</td><td>30</td></tr>
<tr><td rowspan="2">講師名</td><td rowspan="2">医師</td><td>講義時間</td><td>15</td></tr>
<tr><td>テスト時間</td><td>1（45分）</td></tr>
<tr><td>学習目標</td><td colspan="3">1. 内分泌機能の障害と治療について理解する
2. 代謝機能の障害と治療について理解する
3. 自律神経の失調とその治療について理解する</td></tr>
</table>

回数	主題	学習内容及び方法	講義形態
1回	1. 内分泌機能の障害の症状と病態生理	1）症状とその病態生理 （1）主な症状：体重変化、身長の異常、容貌の変化 神経・筋症状、循環器症状、消化器症状、皮膚の変化無月経	講義
2回	2. 内分泌疾患の検査と治療	1）診断・検査 （1）内分泌機能検査（ホルモン血中濃度測定、ホルモン負荷試験等） （2）画像検査 2）治療 （1）薬物療法　（2）手術療法 （3）化学療法　（4）ホルモン補充療法 （5）救急時の対応	講義
3回	3. 主な内分泌疾患と治療	1）間脳・下垂体の疾患 （1）視床下部・下垂体前葉疾患 （2）視床下部・下垂体後葉疾患 （3）甲状腺：①機能障害②炎症③腫瘍 （4）副甲状腺：①機能亢進症②機能低下症 （5）副腎皮質・髄質：①機能障害 （6）消化管ホルモン：①腫瘍 （7）多発性内分泌腫瘍症 （8）性腺：①機能低下症②機能亢進症 2）救急治療を要する内分泌疾患	講義
4回	4. 代謝機能の障害の症状と病態生理	1）代謝の概要と機能 （1）肝臓・筋肉における代謝 糖質・タンパク質・脂質の代謝 尿酸の代謝 2）症状とその病態生理 （1）高血糖（2）ケトーシス（3）低血糖 （4）自律神経失調に伴う身体変化	講義
5回	5. 代謝機能の診断と検査	1）診断・検査 （1）血液検査（HbA1c、血糖値、コレステロール値等） （2）75g経口ブドウ糖負荷試験、身体計測	講義

		2）治療 （1）食事療法 （2）運動療法 （3）薬物療法 （4）生活習慣の改善 （5）患者教育	
6回 7回	6．主な代謝疾患と治療	1）主な代謝疾患 （1）糖尿病と合併症 （2）脂質異常症 （3）肥満症とメタボリックシンドローム （4）尿酸代謝異常 2）体液の調節障害 （1）水と電解質の異常 （2）酸塩基平衡の異常	講義
8回	まとめ・終講試験		
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座　専門Ⅱ　内分泌・代謝　成人看護学⑥（医学書院）		
参考文献			

独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター附属高崎看護学校

授業科目	疾病と治療Ⅴ （内部環境・生体防御機能障害と治療） :膠原病・感染症	対象学年・時期	1年次・後期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	医師	講義時間	4
		テスト時間	試験別
学習目標	1．免疫機能障害と治療について理解する		

回数	主題	学習内容及び方法	講義形態
1回 2回	1．膠原病の診断と検査、治療	1）診断・検査 （1）一般検査（2）血液・免疫学的検査（3）穿刺検査 （4）画像検査 2）治療 （1）薬物療法（2）リハビリテーション （3）社会的支援の活用（4）日常生活上の注意点 3）主な膠原病 （1）関節リウマチ（2）全身性エリテマトーデス （3）抗リン脂質抗体症候群（4）シェーングレン症候群 （5）全身性強皮症（6）多発筋炎・皮膚筋炎 （7）ベーチェット病（8）血管炎症候群 （9）混合性結合組織病	講義
	2．主な感染症と治療	1）主な感染症と治療 （1）HIV 感染症と日和見感染症 （2）多剤耐性菌感染症	

評価方法	系統看護学講座　専門Ⅱ　アレルギー・膠原病・感染症　成人看護学⑪（医学書院）
テキスト	
参考文献	

授業科目	疾病と治療Ⅴ （内部環境・生体防御機能障害と治療） :アレルギー	対象学年・時期	1年次・後期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	医師	講義時間	4
		テスト時間	試験別
学習目標	1. 免疫機能障害と治療について理解する		

回数	主題	学習内容及び方法	講義形態
1回	1．アレルギー疾患の診断・検査・治療	1）免疫のしくみとアレルギー 2）アレルギー反応のしくみと分類 （1）Ⅰ型アレルギー （2）Ⅱ型アレルギー （3）Ⅲ型アレルギー （4）Ⅳ型アレルギー 3）アレルギーの経過	講義
2回	2．主なアレルギー疾患と治療	1）診断・検査 （1）一般検査（血液） （2）総 IgE 値（3）抗原特異的 IgE 抗体の検査 （4）皮膚テスト（5）誘発試験（6）除去試験 2）治療 （1）生活習慣の改善 （2）薬物療法 （3）アレルゲン免疫療法(減感作) （4）心理療法、 （5）訓練療法 3）主なアレルギー疾患 （1）気管支喘息（2）アレルギー性鼻炎 （3）食物アレルギー（4）アトピー性皮膚炎 （5）蕁麻疹（6）薬物アレルギー（7）接触性皮膚炎 （8）アナフィラキシー	講義
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座　専門Ⅱ　アレルギー・膠原病・感染症　成人看護学⑪（医学書院）		
参考文献			

授業科目	疾病と治療Ⅴ (内部環境・生体防御機能障害と治療) :皮膚	対象学年・時期	1年次・後期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	医師	講義時間	6
		テスト時間	試験別
学習目標	1. 皮膚機能障害と治療について理解する		

回数	主題	学習内容及び方法	講義形態
1回	1. 皮膚機能障害の症状と病態生理	1)症状とその病態生理 (1)主な症状:発疹(原発疹・続発疹)、掻痒、皮膚の老化	講義
2回	2. 皮膚疾患の診断・検査・治療	1)診断・検査 (1)皮膚科的検査法 (2)病原微生物検査法 (3)病理組織検査法 (4)分子生物学的検査法 2)治療 (1)全身療法(内服・注射薬) (2)局所療法 (3)光線療法 (4)レーザー療法 (5)凍結療法温熱療法(6)手術療法(7)電気凝固法	講義
3回	3. 主な皮膚疾患と治療	1)表在性皮膚疾患: (1)湿疹・皮膚炎(2)蕁麻疹(3)痒疹(4)紅斑症 (5)薬疹(6)膿疱症(7)角化症 2)真皮・皮下脂肪織および皮膚付属器の疾患 (1)脂肪織炎(2)肉芽腫症(3)汗腺・毛髪の疾患 3)脈管系の異常による皮膚疾患 (1)血管炎(2)血行障害(3)紫斑を呈する疾患 4)物理・化学的皮膚損傷 (1)光線性(2)温熱障害(3)寒冷障害(4)褥瘡など 5)腫瘍および色素異常症 (1)上皮系(2)メラノサイト系(3)間葉系 (4)色素異常症(5)母斑症 6)感染症 (1)一般細菌(2)皮膚結核(3)ハンセン病(4)真菌 (5)ウイルス感染(6)性感染症(7)寄生虫など 7)全身性疾患に伴う皮膚病変	講義
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 皮膚 成人看護学⑫(医学書院)		
参考文献			

【疾病と治療Ⅴ】

自己学習時間	15時間	事前・事後学習	テキストで事前学習・事後学習を行い知識の定着を図る

授業科目	疾病と治療Ⅵ （生殖器の障害と治療）：女性生殖器	対象学年・時期	1年次・後期
		単位数	1
		時間数	15
講師名	医師	講義時間	8
		テスト時間	試験別
学習目標	1．生殖機能の障害と治療について理解する（女性生殖器）		

回数	主題	学習内容及び方法	講義形態
1回	1．女性生殖器疾患の症状と病態生理	1）症状とその病態生理 （1）出血(2)帯下(3)疼痛(4)発熱(5)掻痒感 (6)下腹部膨満感(7)排尿障害(8)自律神経症状 (9)リンパ浮腫	講義
2回	2．女性生殖器疾患の診断・検査・治療	1）診断・検査 （1）理学的検査（2）病理検査 （3）細菌・ウイルス・原虫検査（4）画像検査 （5）腫瘍マーカー検査（6）妊娠検査 （7）内視鏡検査（8）染色体検査・遺伝子検査 2）治療・処置 （1）膣洗浄（2）膣タンポン（3）導尿（4）腹腔穿刺 （5）ダグラス窩穿刺（6）レーザー治療 （7）薬物療法（8）手術（9）避妊	講義
3回 4回	3．主な女性生殖器疾患の症状と治療	1）思春期における性的成熟の障害 （1）性染色体異常を伴う性分化疾患 ①ターナー症候群②クラインフェルター症候群 （2）性染色体異常を伴わない性分化疾患 ①アンドロゲン不応症 2）加齢による生殖機能や性ホルモン変化 (1)更年期障害 3) 女性生殖器の疾病 （1）臓器別疾患 ①尿道下裂②処女膜閉鎖③ベーチェット病 ④膣炎⑤子宮筋腫⑥子宮奇形⑦胞状奇胎 ⑧子宮がん⑨卵巣嚢腫⑩卵巣がん⑪異所性妊娠 (2)機能別疾患： ①月経異常②月経困難症③不妊症④不育症 4）性感染症 ①クラミジア感染症②淋菌感染症③性器ヘルペス ④尖圭コンジローマ⑤梅毒⑥カンジダ症 ⑦HIV 感染症	講義

評価方法	筆記試験
テキスト	系統看護学講座　専門Ⅱ　女性生殖器　成人看護学⑨（医学書院）
参考文献	

<table>
<tr><td rowspan="3">授業科目</td><td colspan="2" rowspan="3">疾病と治療Ⅵ（生殖器の障害と治療）
：乳腺</td><td>対象学年・時期</td><td>1年次・後期</td></tr>
<tr><td>単位数</td><td>1</td></tr>
<tr><td>時間数</td><td>15</td></tr>
<tr><td rowspan="2">講師名</td><td colspan="2" rowspan="2">医師</td><td>講義時間</td><td>4</td></tr>
<tr><td>テスト時間</td><td>試験別</td></tr>
<tr><td>学習目標</td><td colspan="4">1. 生殖機能の障害と治療について理解する（乳腺）</td></tr>
<tr><td>回数</td><td>主題</td><td colspan="2">学習内容及び方法</td><td>講義形態</td></tr>
<tr><td>1回
2回</td><td>1. 乳房の疾患の症状と治療</td><td colspan="2">1）症状とその病態生理
リンパ浮腫
2）診断・検査
（1）マンモグラフィ（2）MRI（3）超音波検査（4）細胞診
3）治療・処置
（1）手術療法（2）放射線療法（3）化学療法
（4）ホルモン療法
4）悪性腫瘍：乳がん
5）良性腫瘍
（1）線維腺腫
（2）乳管内乳頭腫
（3）乳腺症
6）その他
（1）扁平・陥没乳頭
（2）乳腺炎</td><td>講義</td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td colspan="4">筆記試験</td></tr>
<tr><td>テキスト</td><td colspan="4">系統看護学講座　専門Ⅱ　女性生殖器　成人看護学⑨（医学書院）</td></tr>
<tr><td>参考文献</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

授業科目	疾病と治療Ⅵ (生殖器の障害と治療):男性生殖器		対象学年・時期	1年次・後期
			単位数	1
			時間数	15
講師名	医師		講義時間	2
			テスト時間	1(45分)
学習目標	1. 生殖機能の障害と治療について理解する(男性生殖器)			
回数	主題	学習内容及び方法		講義形態
1回	1. 男性生殖器疾患の症状と治療	1)症状とその病態生理 精巣機能障害、性機能障害 2)診断・検査 (1)精液検査 (2)精巣生検 (3)精管造影 (4)血中テストステロン測定 (5)勃起機能検査 3)治療・処置 (1)ホルモン治療(2)手術(3)男性不妊治療 4)主な疾患 (1)男性不妊症 (2)性分化異常:クラインフェルター症候群 (3)男性性機能障害 ①勃起障害②射精障害 (4)その他 ① 造精子障害 ②精子の形態・運動異常 ③精路通過異常など		講義
2回	終講試験			
評価方法	筆記試験			
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 腎・泌尿器 成人看護学⑧(医学書院)			
参考文献	新体系 看護学全書 腎・泌尿器 成人看護学⑦(メヂカルフレンド社)			

【疾病と治療Ⅵ】

自己学習時間	30時間	事前・事後学習	テキストで事前学習・事後学習を行い知識の定着を図る

<table>
<tr><td rowspan="3">授業科目</td><td rowspan="3">疾病と治療Ⅶ
（小児の特徴的な機能障害と治療）</td><td>対象学年・時期</td><td>1年次・後期</td></tr>
<tr><td>単位数</td><td>1</td></tr>
<tr><td>時間数</td><td>15</td></tr>
<tr><td rowspan="2">講師名</td><td rowspan="2">医師</td><td>講義時間</td><td>14</td></tr>
<tr><td>テスト時間</td><td>1（45分）</td></tr>
<tr><td>学習目標</td><td colspan="3">1．小児看護でよく遭遇する機能障害とその治療について理解する</td></tr>
</table>

回数	主題	学習内容及び方法	講義形態
1回	1．小児医療と機能障害	1）発達・発育過程で生じる機能障害 （1）小児医療の分野 （2）小児医療の特殊性 （3）疾患がおよぼす発達・発育過程の機能障害 2）児童虐待 （1）小児虐待増加への対策と医療の役割	講義
	2．急性な症状を呈する健康障害	1）小児にみられる症状と病態生理 （1）発熱（2）悪心・嘔吐（3）下痢（4）脱水（5）呼吸困難（6）チアノーゼ（7）痛み（8）意識障害（9）けいれん（10）ショック（11）啼泣・不機嫌	講義
2回	3．遺伝子・染色体異常と形態異常	1）先天異常 （1）染色体異常・先天異常とは （2）先天異常の代表的疾患と治療 ①メンデル遺伝病②染色体異常症 ③先天性形成異常	講義
	4．新生児の特徴的な機能障害と治療	1）新生児の特徴と異常徴候 2）新生児の主な疾患と治療 3）低出生体重児の疾患と治療	講義
3回	5．免疫・アレルギー症状を呈する健康障害と治療	1）アレルギーの分類 2）小児の主なアレルギー疾患と治療 （1）気管支喘息（2）食物アレルギー （3）アトピー性皮膚炎 3）免疫疾患とその治療 （1）原発性免疫不全症候群（2）リウマチ性疾患	講義
	6．特徴的な感染症	1）子どもの感染に関する基本的知識 （1）子どもの免疫の特徴 2）小児に特徴的な感染症と治療 （1）ワクチンで予防できる感染症 （2）細菌感染症（3）ウイルス感染症	講義
4回	7．特徴的な呼吸機能障害と治療	1）呼吸器の構造と機能の小児の特徴 （1）呼吸器の構造（2）呼吸の生理	講義

		2）症状と病態生理 3）呼吸器疾患とその治療 （1）上気道（2）気管支・肺・胸膜（3）	
	8．特徴的な循環機能障害と治療	1）循環器の構造と機能の小児の特徴 （1）循環器の構造（2）循環の生理 2）症状と病態生理 3）小児循環器疾患とその治療 （1）先天性心疾患（2）後天性心疾患（3）突然死	講義
5回	9．特徴的な消化機能障害と治療	1）消化器の構造と機能の小児の特徴 （1）消化器の構造（2）消化器の生理 2）症状と病態生理 3）消化器疾患とその治療 （1）口腔（2）食道（3）胃・十二指腸（4）腸 （5）肝・胆道（6）横隔膜・腹膜・腹壁	講義
	10．特徴的な内分泌・代謝疾患	1）内分泌・代謝器官の構造と機能の小児の特徴 2）症状と病態生理 3）内分泌疾患とその治療 （1）下垂体（2）甲状腺（3）副甲状腺 （4）副腎（5）性腺 4）代謝疾患とその治療 （1）1型2型糖尿病（2）先天代謝異常症	講義
6回	11．特徴的な運動機能障害と治療	1）運動器の構造と機能の小児の特徴 2）症状と病態生理 3）運動器疾患とその治療 （1）先天性疾患（2）後天性疾患	講義
	12．特徴的な腎・泌尿器の機能障害と治療	1）腎・泌尿器の構造と機能の小児の特徴 2）症状と病態生理 3）腎・泌尿器疾患とその治療 （1）糸球体疾患（2）腎疾患（3）尿路疾患 （4）生殖器・外性器疾患	講義
7回	13．特徴的な神経・筋の機能障害と治療	1）脳神経系の構造と機能の小児の特徴 2）症状と病態生理 3）神経疾患とその治療 （1）痙攣性疾患（2）中枢神経系血管性疾患 （3）脳性麻痺（4）神経皮膚症候群（5）急性疾患 （6）筋疾患（7）先天異常	講義
	14．外科的治療の対象となる健康障害	1）外科的治療の適応疾患 （1）脳腫瘍（2）頭部外傷（3）その他	講義
	15．特徴的な皮膚・感覚機能障害と治療	1）小児に特徴的な皮膚疾患と治療 2）小児に特徴的な眼疾患と治療 3）小児に特徴的な耳鼻咽喉疾患と治療	講義

8回	終講試験	
評価方法	筆記試験	
テキスト	新体系看護学全書　健康障害をもつ小児の看護　小児看護学②（メヂカルフレンド社）	
参考文献	系統看護学講座　専門Ⅱ　小児臨床看護各論　小児看護学②（医学書院）	

【疾病と治療Ⅶ】

自己学習時間	30時間	事前・事後学習	テキストで事前学習・事後学習を行い知識の定着を図る

授業科目	疾病と治療Ⅷ（精神障害と治療）	対象学年・時期	2 年次・前期
		単位数	1
		時間数	15
講師名	医師	講義時間	14
		テスト時間	1（45 分）
学習目標	1．精神の障害とその診断および検査と治療を理解する		

回数	主題	学習内容及び方法	講義形態
1 回	1．精神疾患について	1）脳と仕組みと精神機能 （1）神経系の分類と機能（2）神経伝達物質と精神機能	講義
2 回	2．精神症状の原因	1）精神症状の種類 （1）知覚障害（2）思考障害（3）自我意識障害 （4）感情障害（5）意欲・行動障害（6）意識障害 （7）知能障害（8）記憶障害（9）強迫行為 2）状態像 （1）不安状態（2）心気状態（3）幻覚妄想状態 （4）抑うつ状態（5）精神運動興奮状態（6）昏迷状態 （7）無為・自閉状態（8）引きこもり状態	講義
3 回	3．精神障害の診断と検査の種類	1）脳波検査、脳の画像検査、脳脊髄液検査 2）心理検査	講義
4 回	4．主な精神障害の治療	1）薬物療法　　　2）電気けいれん療法 3）社会復帰療法　4）リハビリテーション療法	講義
5 回 6 回 7 回	5．主な疾患の診療	1）脳器質性疾患（認知症） 2）症状精神病 3）統合失調症 4）躁うつ病 5）神経症と心因性精神病 6）人格障害 7）てんかん 8）アルコール依存 9）児童・思春期におこりやすい精神障害 （1）発達障害（精神遅滞、自閉症、ADHD） （2）神経症性障害（不登校、家庭内暴力、摂食障害）	講義
8 回	終講試験		
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座　専門Ⅱ　精神看護の基礎（医学書院） 系統看護学講座　専門Ⅱ　精神看護の展開（医学書院）		
参考文献			

【疾病と治療Ⅷ】

自己学習時間	30 時間	事前・事後学習	テキストで事前学習・事後学習を行い知識の定着を図る

授業科目	栄養学(物質の代謝/食事療法)	対象学年・時期	1年次・前期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	管理栄養士	講義時間	29
		テスト時間	1(45 分)
学習目標	1. 栄養素の消化・吸収・代謝および生理作用について学び、人間にとっての栄養の意義および健康障害時の食事療法の基本を理解する		

回数	主題	学習内容及び方法	講義形態
1 回 2 回 3 回	1. 生体を構成する物質	1)生化学の概要　2)糖質 3)脂質　4)タンパク質 5)核酸　6)水と無機質 7)ホルモン	講義
4 回 5 回 6 回	2. 生体内の物質代謝	1)代謝のあらまし 2)ビタミンと補酵素 3)糖質代謝 4)脂質代謝 5)タンパク質代謝 6)核酸代謝 7)ポルフィリン代謝	
7 回	3. 遺伝情報	1)生命と遺伝子　2)構造　3)異常と疾患	
8 回 9 回	4, 代謝障害	1)代謝の異常と疾患	
10 回 11 回	5. 健康つくりと食生活	1)ライフステージと栄養 2)栄養状態の評価 3)食生活指針と健康日本21	
12 回 13 回	6. 臨床栄養	1)病院食 2)疾患別食事療法 3)栄養補給法 4)栄養指導	
14 回	7. 栄養指導の実際	1)指導の実際	
15 回	まとめ・終講試験		
評価方法	筆記試験		
テキスト	新体系　看護学全書　栄養生化学　人体の構造と機能②　メヂカルフレンド社 系統看護学講座　別巻　栄養食事療法　医学書院		
参考文献			

【栄養学】

自己学習時間	15 時間	事前・事後学習	テキストで事前学習、事後学習を行うこと

授業科目	微生物学	対象学年・時期	1年次・前期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	非常勤講師	講義時間	29
		テスト時間	1(45分)
学習目標	1. 健康をおびやかす微生物の基礎知識を学ぶ 2. 感染症を起こす病原微生物について理解する 3. 医薬品による健康障害を理解する 4. 感染症とその変貌を理解する		

回数	主題	学習内容及び方法	講義形態
1回	1. 健康状態をおびやかす微生物	1)微生物学の分布と人体 (1)微生物の種類と特徴 (2)微生物の生物学的特徴 (3)微生物と人間:有用な作用、病原性	講義
2回		1)細菌の形態的特徴、増殖、分類	講義
3回		1)真菌・原虫・ウイルスの形態的特徴、増殖、分類	講義
4回 5回		1)病原微生物の感染経路と潜伏期間 (1)感染成立の要件 (2)感染経路 (3)潜伏期間、発病 2)病原微生物に対する化学療法と薬剤耐性 (1)化学療法の原理 (2)薬剤耐性 (3)副作用 3)病原微生物に対する予防処置と感染防御 (1)標準予防策、感染経路別予防策 (2)滅菌と消毒 (3)感染症の検査と診断	講義
6回 7回	2. 人体防御機構への看護の視点	1)人体の感染防御機構と免疫反応 (1)自然免疫、獲得免疫、粘膜免疫 (2)予防接種 2)アレルギー疾患 3)自己免疫疾患および類縁疾患 A群溶結性連鎖球菌(リウマチ熱、急性糸球体腎炎) カンピロバクター(ギラン-バレー症候群) 4)臓器移植:移植免疫	講義
8回	3. 感染症	1)グラム陽性球菌 (1)ブドウ球菌 (2)多剤耐性ブドウ球菌 (3)レンサ球菌 など	講義
9回		1)グラム陰性球菌・ グラム陰性好気性桿菌 (1)淋菌 (2)髄膜炎菌 (3)緑膿菌 (4)アシネトバクター など	講義
10回		1)グラム陰性通性桿菌 (1)腸内細菌科(大腸菌、腸管出血性大腸菌) (2)コレラ (3)ヘリコバクター-ピロリ など	講義
11回		1)抗酸菌、放射線菌、嫌気性菌、スピロヘータ、マイコプラズマ (1)結核菌 (2)破傷風菌 (3)ボツリヌス菌 (4)梅毒 (5)マイコプラズマ など	講義
12回		1)クラミジア、リケッチア、真菌、原虫 (1)トラコーマクラミジア (2)発疹チフスリケッチア (3)カンジダ-アルビカンス (4)赤痢アメーバ など	講義

13 回 14 回	3. 感染症	1) DNA ウイルス (1) ヘルペスウイルス (2) アデノウイルス (3) 水痘－帯状疱疹ウイルスなど 2) RNA ウイルス (1) インフルエンザウイルス (2) ムンプスウイルス (3) 麻疹ウイルス など	講義
15 回	まとめ・終講試験		
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 微生物学 疾病のなりたちと回復の促進④（医学書院）		
参考文献			

【微生物学】

自己学習時間	15 時間	事前･事後学習	テキストで事前学習、事後学習を行う

授業科目	薬理学	対象学年・時期	1年次・後期
		単位数	1
		時間数	30
講師名	薬剤師	講義時間	29
		テスト時間	1（45分）
学習目標	1. 薬理学の基礎知識を理解する 2. 健康障害に対する薬物療法の作用機序、人体への影響について理解する		

回数	主題	学習内容及び方法	講義形態
1回	1. 薬理学の概念	1）薬理学とはなにか 2）薬物による病気の治療	講義
2回	2. 薬理学の基礎知識	1)薬が作用するしくみ（薬力学） 2)薬の体内の挙動（薬物動態学） 3)薬理相互作用 4)薬効の個人差に影響する因子 5)薬物使用の有益性と危険性 6）薬物による健康被害 7）薬と法律	講義
3回	3. 抗感染症薬	1）感染症治療に関する基礎事項 2）特殊な感染症の治療薬	講義
4回	4. 抗がん剤・免疫治療薬	1）抗がん剤の作用・有害作用　2）抗がん剤の取り扱い 3）免疫抑制薬　4）免疫増強薬・予防接種薬	講義
5回	5. 抗アレルギー薬・抗炎症薬	1）抗ヒスタミン薬と抗アレルギー薬 2）炎症と抗炎症薬　3）関節リウマチ治療薬 4）痛風・高尿酸血症治療薬　5）片頭痛治療薬	講義
6回	6. 末梢での神経活動に作用する薬物	1）神経系による情報伝達 2）自律神経系作用薬　3）交感神経作用薬 4）副交感神経作用薬　5）筋弛緩薬・局所麻酔薬	講義
7回	7. 中枢神経系に作用する薬物	1）中枢神経系のはたらきと薬物　2）全身麻酔薬 3）催眠薬・抗不安薬　4）抗精神病薬 5）気分障害治療薬　6）パーキンソン症候群治療薬 7）抗てんかん薬　8）麻薬性鎮痛薬	講義
8回 9回	8. 心臓・血管系に作用する薬物	1）抗高血圧薬　2）狭心症治療薬 3）心不全治療薬　4）抗不整脈薬 5）利尿薬　6）脂質異常症治療薬 7）血液に作用する薬物（抗血液凝固薬、血栓溶解薬及び抗血小板薬）	講義
10回	9. 呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物	1）気管支喘息治療薬　2）鎮咳・去痰・呼吸促進薬 3）消化性潰瘍治療薬　4）健胃薬・消化運動促進薬 5）制吐・下剤・止痢薬　6）女性・男性生殖器に作用する薬物　7）泌尿器に作用する薬物	講義

11 回	10．物質代謝に作用する薬物	1）糖尿病治療薬　2）甲状腺疾患治療薬 3）視床下部・下垂体ホルモン製剤 4）骨粗鬆症治療薬　5）治療薬としてのビタミン	講義
12 回	11.皮膚科用薬・救急の際に使用される薬物	1）皮膚科用薬の特徴　2）皮膚科用薬の種類 3）救急に用いられる薬物 4）急性中毒に対する薬物	講義
13 回	12．医薬品の安全な使用と管理	1）医薬品の適正使用 2）医薬品の安全管理	講義
14 回	13．服薬に関する患者指導	1）コンプライアンスとアドヒアランス 2）服薬の説明	講義
15 回	まとめ・終講試験		
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座　専門基礎　薬理学　疾病のなりたちと回復の促進③(医学書院)		
参考文献	系統看護学講座　専門基礎　臨床薬理学（医学書院）		

【薬理学】

自己学習時間	15 時間	事前・事後学習	テキストで事前学習・事後学習を行い知識の定着を図る

【　健康支援と社会保障制度　】

授業科目	保健医療論	対象学年・時期	1年次・後期
		単位数	1
		時間数	15
講師名	医師	担当時間数	14
		テスト時間	1(45 分)
学習目標	1. 医療の変遷を学び、医の倫理に基づいた医療の役割を理解する		

回数	主題	学習内容及び方法	講義形態及び教室
1回	1. 医学・医療のあゆみ	1) 人類の誕生と医療の原始的形態 2) 古代・中世の医学	講義
2回	2. 健康と疾病	1) 生活の場と健康 2) 労働と健康	講義
3 回 4 回	3. 医と倫理	1) 生命倫理とは 2) 患者の権利 3) 脳死と臓器移植 4) 生殖医療 5) 遺伝学の発展と倫理的問題 6) 告知と終末期医療 7) 安楽死と尊厳死 8) クローン再生	講義
5 回	4. 保健医療のあり方	1) 近代医学の発展 2) 21世紀の医療サービス 3) 患者からみた保健医療の質	講義
6 回	5. 我が国の医療供給体制	1) 方向性と課題	講義
	6. 政策医療	1) 国立病院機構の歴史 2) 国立病院機構の機能と役割	
7 回	7. 保健医療チームの連携	1) 医療・保健・福祉領域における多職種連携	講義
	8. 災害時の医療体制	1) 災害医療の特徴 2)災害と情報	
8 回	終講試験		
評価方法	筆記試験		
テキスト	新体系看護学全書　健康支援と社会保障①　現代医療論(メヂカルフレンド社)		

【保健医療論】

自己学習時間	30 時間	事前・事後学習	テキストで事前学習、事後学習を行うこと

<table>
<tr><td rowspan="3">授業科目</td><td rowspan="3" colspan="2">公衆衛生</td><td>対象学年・時期</td><td>2 年次・前期</td></tr>
<tr><td>単位数</td><td>2</td></tr>
<tr><td>時間数</td><td>30</td></tr>
<tr><td rowspan="2">講師名</td><td rowspan="2" colspan="2">非常勤講師</td><td>担当時間数</td><td>29</td></tr>
<tr><td>テスト時間</td><td>1(45 分)</td></tr>
<tr><td>学習目標</td><td colspan="4">1. 国民の健康に関する状況と生活環境を学び、人々が健康を教授するために望ましい制度や組織活動を理解するとともに医療専門職の役割を理解する</td></tr>
<tr><td>回数</td><td>主題</td><td colspan="2">学習内容及び方法</td><td>講義形態
及び教室</td></tr>
<tr><td>1 回</td><td>1. 健康と公衆衛生</td><td colspan="2">1)公衆衛生のあゆみ</td><td rowspan="16">＊アクティブラーニング
講義・演習</td></tr>
<tr><td>2 回</td><td>2. 疫学と健康に関する指標</td><td colspan="2">1)保健統計の基本的な考え方
2)人口の動向
3)人口の動向把握と必要な指標</td></tr>
<tr><td>3 回
4 回</td><td>3. 環境と公衆衛生</td><td colspan="2">1)人間と生活環境
2)健康問題と環境</td></tr>
<tr><td>5 回</td><td rowspan="8">4. 公衆衛生の対象と活動</td><td colspan="2">1)保健所・保健センターにおける活動</td></tr>
<tr><td>6 回</td><td colspan="2">2)母子健康
・母子保健活動
・子育て支援</td></tr>
<tr><td>7 回
8 回</td><td colspan="2">3)地域保健
・地域保健活動
・地域保健法
・健康教育</td></tr>
<tr><td>9 回</td><td colspan="2">4)学童期の健康管理
・学校保健</td></tr>
<tr><td>10 回</td><td colspan="2">5)生活習慣病予防
・健康日本21</td></tr>
<tr><td>11 回</td><td colspan="2">6)感染症とその予防
・感染症法</td></tr>
<tr><td>12 回</td><td colspan="2">7)職場の健康保険
・労働安全衛生、労働災害や公務災害</td></tr>
<tr><td>13 回</td><td>5. 疾病の予防と疫学調査法</td><td colspan="2">1)疫学的方法に基づく公衆衛生
・臨床疫学とエビデンス</td></tr>
<tr><td rowspan="2">14 回</td><td>6. 難病対策</td><td colspan="2">1)難病法</td></tr>
<tr><td>7. 保健行政</td><td colspan="2">1)保健行政の体系</td></tr>
<tr><td>15 回</td><td colspan="4">まとめ/終講試験</td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td colspan="4">筆記試験</td></tr>
<tr><td>テキスト</td><td colspan="4">系統看護学講座　専門基礎　公衆衛生　健康支援と社会保障制度②(医学書院)
わかりやすい公衆衛生学　　(ヌーベルヒロカワ)</td></tr>
</table>

参考文献	国民衛生の動向(厚生統計協会)

【公衆衛生】

自己学習時間	15 時間	事前・事後学習	テキスト、国民衛生の動向で学習する

授業科目	社会福祉		対象学年・時期	3年次・前期
			単位数	2
			時間数	30
講師名	非常勤講師		担当時間数	29
			テスト時間	1(45分)
学習目標	1. 社会福祉と医療・社会保険の関連について理解し、対象に必要な社会資源として看護に活用する必要性を理解する			
回数	主題	学習内容及び方法		講義形態
1回 2回	1.社会福祉・社会保障の定義と理念	1)日本の保健医療福祉活動の基本方向 (1)社会保障制度と社会福祉の概要 (2)ノーマライゼーション、人権擁護		講義
3回 4回 5回	2. 社会福祉諸法の関連法と施策	1)社会保険の変遷 2)医療保険制度 (1)医療保険制度の概要 3)介護保険制度 (1)介護保険制度の概要、保険給付とサービスの種類 4)年金制度 5)その他社会保険制度 (1)労働保険制度		講義
6回 7回	3. 社会福祉行政	1)保健福祉計画 2)社会福祉の民間活動 3)老人保健福祉行政 4)職員、機関、施設		講義
8回 9回	4. 社会保険及び公的給付の沿革と概要	1)公的扶助 2)所得保障		講義
10回 11回 12回	5. 社会福祉・社会保障の現状と将来	1)福祉と看護の関係 2)地域福祉・公的介助論 3)母子・児童福祉、障害者福祉		講義
13回 14回	6. 保健福祉医療の連携とマネージメント	1)保健・福祉・医療機関における連携と実際 2)地域包括ケアシステムにおける他機関との連携と実際 3)多職種協働とマネジメント		講義
15回	まとめ/終講試験			
評価方法	筆記試験			
テキスト	系統看護学講座 専門基礎 社会保障・社会福祉 健康支援と社会保障制度③(医学書院)			
参考文献	特に指定しないが、社会福祉制度の課題に関する書籍に目を通すことが望ましい。			

【社会福祉】

自己学習時間	15時間	事前・事後学習	社会福祉の書籍を読む テキストで事前学習、事後学習をする

独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター附属高崎看護学校

授業科目	関係法規	対象学年・時期	3年次・前期
		単位数	1
		時間数	15
講師名	事務部門職員　看護師	担当時間数	14
		テスト時間	1(45分)
学習目標	1. 医療の概念を理解し、社会生活と法のつながりを理解する 2. 医療に関する法律を学び、看護師に必要な法規を理解する		

回数	主題	学習内容及び方法	講義形態及び教室
1回	1. 法規の概念	1)法の基礎的知識と法制度の仕組み 2)生活者の健康に関わる法規の分類	講義
2回	2. 医事法規	1)医療法 2)放射線技師等に関する法律 3)医師法	講義
3回	3. 看護法	1)保健師助産師看護師法 2)看護師等の人材確保の促進の関する法律	講義
4回	4. 労働法と社会基盤整備	1)労働基準法 2)労働安全衛生法 3)その他の労働関係法規 ・看護職と就業規制	講義
5回	5. 療関係者にかかわる法規 薬務法	1)薬務法 2)薬剤師法 3)医薬品・医療機器その他国民の衛生上必要な規制 (1)医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保に関する法律 (2)再生医療・血液製剤・薬剤被害の救済に関する法律等 (3)麻薬・毒薬等	講義
6回	6. 社会保険法 福祉法	1)社会保険法 (1)医療保険、介護保険、所得保障	講義
7回		1)福祉法 (1)福祉の基盤 (2)児童・高齢・障害分野	講義
8回	終講試験		
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座　専門基礎　看護関係法令　健康支援と社会保障制度④(医学書院)		
参考文献	国民衛生の動向(厚生統計協会)		

自己学習時間	30時間	事前・事後学習	テキストで事前・事後学習を行うこと